

——サンプル版——

**大安寺中学**

**<適性検査Ⅰ・Ⅱ>**

**全過去問徹底対策テキスト**

課題2 太郎さんと花子さんは、パソコンのキーボードを見ながら話をしています。

太郎：パソコンのキーボードをよく見ると、「+」とか「-」のキーがあるね。「×」とか「÷」のキーもあるのかな。

花子：「×」は「\*」, 「÷」は「/」というキーを使うらしいよ。

太郎：キーボードの中には、学校で習ったこの4つの記号以外に計算の記号ってあるのかな。

花子：「^」という記号は「□^△」という使い方で、「□を△回かける」という意味だとお父さんから聞いたことがあるわ。

太郎：たとえば、「3^2」だったら「3を2回かける」という意味なので計算すると「 $3 \times 3 = 9$ 」になるね。

花子：そうね。この「^」を使っていろいろな計算をしてみましょうか。

(1)  $2^5$ を計算しましょう。

H 2 5

$$2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 = 32$$

ちゃんと読めばわかる問題です。間違えてはいけない問題です。

太郎：この記号で計算するとすぐに大きな数になりそうだね。

花子：計算した数そのものではなくて、その数の一の位の数字にだけ注目してみましようか。

(2)  $5^{10}$  を計算したときの一の位の数字を答えましょう。

5です。

$$5 \times 5 \times 5 \cdots \cdots$$

25・125・・・・全部1ケタ目は5×5なので、5になります。

これもただ計算すればカンタンな問題です。

① 昨年の7月22日に、太陽の一部分が月でかくされた日食が見られました。この日の太陽と月の見かけの大きさはほぼ同じでした。この日のある時刻に、みちこさん、たくやさん、すすむさんの三人が日食を見るための道具を使って、屋外で観察しました。そのときの太陽は右の図のように見えました。



課題1 次の会話文の ①～④ に当てはまる数字を書き入れましょう。

みちこ：あの日の日食は太陽の欠けた割合が話題になっていたわね。月のかげの黒い円がちょうど太陽の中心にさしかかったときには、太陽はどれくらい欠けていたのかしら。たくやさんとすすむさんはどう思う。

たくや：そうだね。太陽の欠けている部分の面積の割合はどのくらいなのか調べてみたいな。

すすむ：どうやって調べたらいいかな。

たくや：実際の太陽と月のままでは考えにくいから、図をかいて調べてみようよ。

たくやさんは、太陽を半径12cmの円として、コンパスで紙の上にかき、円周率を3.14として計算しました。

たくや：まず、太陽の円の面積を求めよう。この円の面積は ①  cm<sup>2</sup>になるよね。

円の面積です。ドリルでもやる普通の計算です。小数に注意して解いてください。

円の面積を求める公式は・・・

$$\text{半径} \times \text{半径} \times \text{円周率} (3.14)$$

太陽の半径を12 cmとしているので、

$$12 \times 12 \times 3.14$$

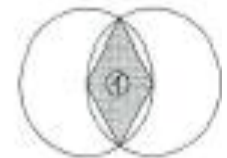
$$\textcircled{1} \quad 452.16$$

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 12 \\ \hline 24 \\ 12 \phantom{0} \\ \hline 144 \\ \\ 144 \\ \times 3.14 \\ \hline 576 \\ 144 \phantom{0} \\ \hline 432 \phantom{0} \\ \hline 452.16 \end{array}$$

月の半径も12cmとして、太陽の円の中心を月の円の円周が通るように、もう一つ円をかくよ。太陽の欠けていた部分は、二つの円の重なった部分、図形①になるね。でも、すぐに図形①の面積を出すのはむずかしそうだね。



すすむ：うん、そうだね。ぼく、いい方法を考えたよ。図形①より面積が小さい図形として、図形①の内側にくっついた二つの正三角形からできた図形②の面積を考えるんだ。次に、図形①より面積が大きい図形として、図形①の外側にくっついた長方形の図形③の面積を考えるんだ。その二つの面積の平均を出してみると、図形①の面積に近くなると思うんだけど。

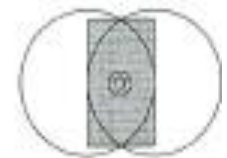


たくや：測ってみたら図形②の一つの正三角形の高さは約10cmだから、これを10cmとして計算するよ。

そうすると、図形②の面積は   $\text{cm}^2$ になるよね。

図形③の面積は   $\text{cm}^2$ になるよね。

図形②の面積と図形③の面積の平均を出してみると   $\text{cm}^2$ になるね。

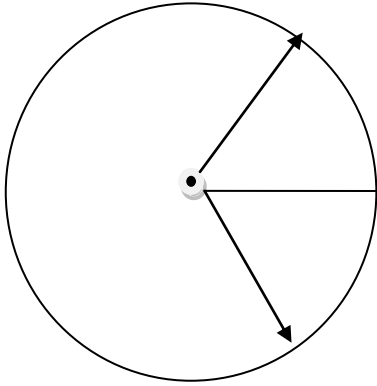




文章問題なので、この文章の中の言葉はもらさずチェックしながら読みましょう！

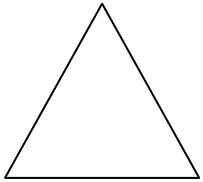
- ・太陽も月も同じ半径12 cmの円。
- ・円の中心を同じ円の円周が通っているから、もうひとつの円の中心も通る。
- ・たくやさんが、正三角形の高さは10 cmと言っている。

ここからは円と正三角形が成立するためにはどんなことが言えますか？と聞いています。



- ・円は、中心から円周へのぼした直線（半径）はどこからとっても長さが同じ（コンパス使ってもわかりますね）
- ・正三角形は、3つの辺の長さすべてが同じ。

ということは、正三角形の1辺は、円の半径の長さと同じ。



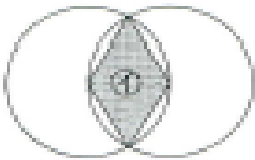
円の半径が12 cmなので、正三角形の1辺も12 cm。

高さが10 cmなので、あとは三角形の面積の公式をあてはめるだけ！

三角形の面積の公式は・・・

$$\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$$

$$12 \times 10 \div 2 = 60$$



60の三角形が上下2つだから、

$$60 \times 2 = 120$$

$$\textcircled{2} \quad 120$$

ウの長方形の面積は

ろうそくの火が消えてから、ビーカーの中の空気の温度が火をつける前の温度になるまで観察を続けました。予想どおりの結果になり、理由4が主に影響していることがわかりました。

**課題3** この実験の前にみちこさんは、火がついてから後、ビーカーの中の水面がどのように変化していくかを予想しました。あなたなどのような予想をしますか。その予想を書きましょう。ただし、理由1～3は考えないものとします。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

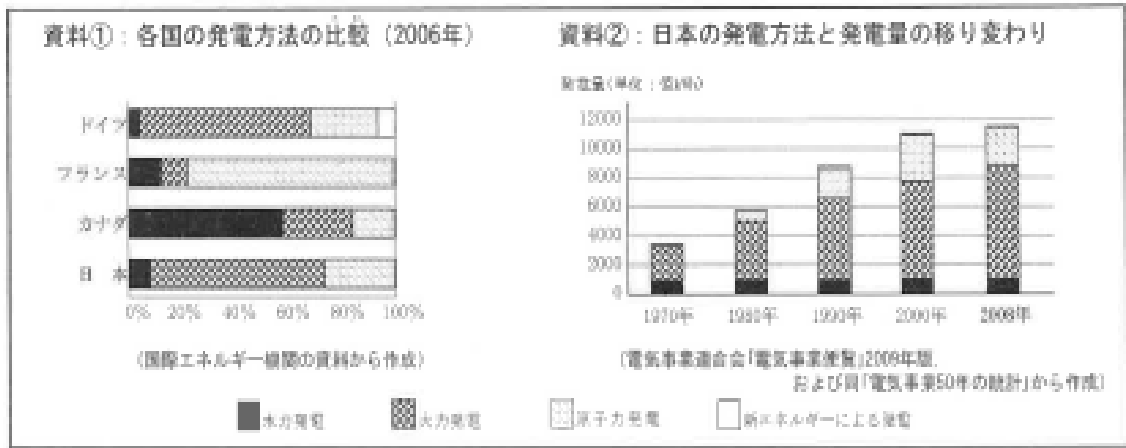
理由1～3は考えないものとしますということは、通常、空気の問題の場合、理由4が一番大きな変化があり、この空気のぼうちようを考えます。

たとえば、しぼんだゴムボールをふくらませるのにお湯であたためたり、へこんだピンポン玉を元に戻すのもあたためてやることがあります。

火がついてから後、空気がぼうちようすることで、ビーカーの中の水面がじょじょに下がり、火が消えて、じょじょに水面が上がり、火をつける前の温度になるとほぼ火をつける前の水面になる。

2 次の会話文を読んで、課題1と課題2に答えましょう。

たくや：先週末の夜はすごい雨とかみなりだったね。うちの近くにもかみなりが落ちたらしく、しばらく停電になったんだ。  
 みちこ：そうそう。わたしの家も停電になって大変だったわ。  
 たくや：そのときに改めて気づいたけど、家の中にあるものって電気を使っているものが多いんだね。  
 みちこ：そうね。これまで当たり前のように電気製品を使って生活していたから、分からなかったわ。  
 たくや：うん。そこで、現在の日本の発電方法はどうなっているのか、気になって調べてみたんだ。



みちこ：資料①と②をみると、日本の発電に関する特徴が分かるわね。  
 たくや：うん、そうだね。それから資料③のような表を見つけたんだ。これらの資料から、ぼくは今後の発電の方法や電気の利用に関して、どうあるべきかを考えようと思うんだ。

**資料③：発電方法別でみる発電単価・温室効果ガス排出量の比較**

発電方法	発電単価	温室効果ガス排出量の比較	
水力発電	約11円	100	
火力発電	約9円	6464	
原子力発電	約8円	214	
新エネルギー	太陽光発電	約49円	482
	風力発電	約12円	264

注）◇発電単価とは、1kWhの電力を発電するときにかかる費用のこと。  
 ◇温室効果ガス排出量の比較は、発電量が同じ場合に発生する温室効果ガスを、二酸化炭素の量に換算し、水力発電を100として比較したもの。

（経済産業省「資源エネルギー庁」『日本のエネルギー 2010』から作成）

**課題1** あなたは日本の発電の特徴について、どのようなことが分かりましたか。資料①・②からその特徴をそれぞれ一つずつ書きましょう。

資料①から分かった特徴	
資料②から分かった特徴	

**課題2** あなたは今後の発電の方法や電気の利用に関して、どうあるべきだと考えますか。資料①～③の少なくとも一つを使って、あなたの考えを理由もふくめて書きましょう。

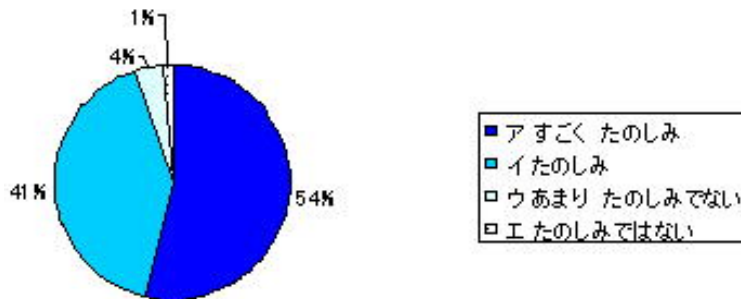
.....

.....

## 課題 1

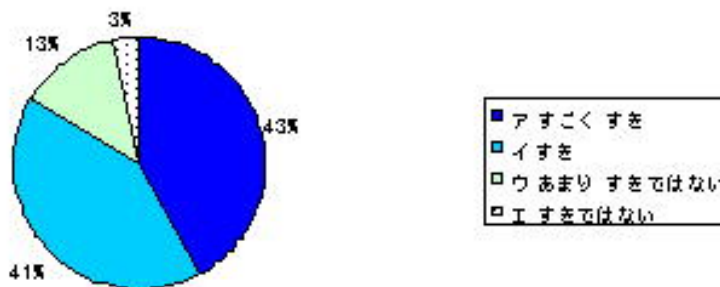
表やグラフを読めますか？読んでどう感じましたか？どう思いましたか？こりゃいかんなどと思う数字があった場合に、どういう方法が考えられますか？いろいろHPなどに掲載されている円グラフや棒グラフ折れ線グラフなどを読んだり、表の数字を読めるようになりましょう。たとえばある学校の英語のアンケート

英語の時間を楽しみにしていますか。



英語の時間が楽しみな生徒が95%とはすごいことだぞ！うんうんさすがだ！  
さすが家の子が通ってる学校だ！

英語を聞いたり、英語を話したりすることが好きですか。



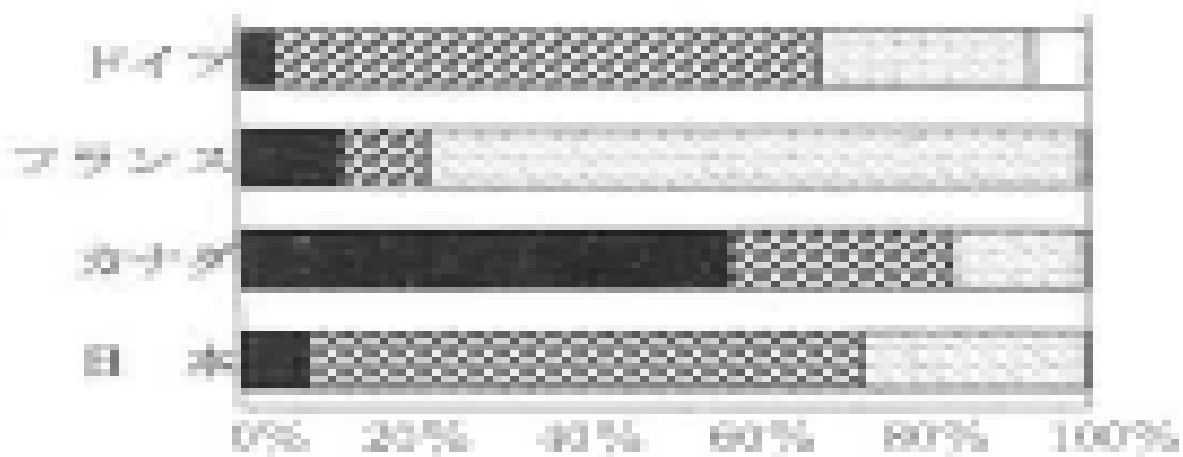
ん？？英語の時間が楽しみなのに、聞いたり話したりするのがあまり好きではないってどういうことだ？しかも13%もいるぞ！今の消費税10%法案よりでかいじゃないか！これは問題じゃないのか？？昨年より好きな人が増えたからがんばってこれから増やしていくそうなのでよかった。

これはほんの一例です。こういうふうになんか数字を読む力とそこからどうしたらいいのか、どうしてこんな結果になったのか等考えてみましょう。

また自分で出した数字をグラフや表にしてみても勉強になります。

例) 体重・身長・走る時間・百マス計算・なわとびなどなど。書いていくうちに「あの日は雨で～～があったからだ」とかいろいろな要因が出てきて、もっとこうしていこうという考えが出来ます。

## 資料①：各国の発電方法の比較（2006年）



《国際エネルギー機関の資料から作成》



日本の発電の特徴です。

水は、10%もないです。火は、60～70%あります。原子は、25～30%くらいあります。

新は、ほとんど0に近いです。

補足として、他の3カ国は、

カナダは水が強いぞ！（ナイアガラの滝とかのおかげか？調べてみましょう）

フランスは原子ばかりじゃないか！（危険性はないのか？大丈夫か？）

ドイツは日本に似ているが、新にかなり力を入れているぞ！（日本は新についてまねていくべきだな。）

例)

日本は、火力が60～70%とほとんどを占め、原子力は、25～30%くらいあり、新エネルギーはほとんど利用できていない。



たぶん、もし国語の採点する先生がこの問題を間違えた受検生を見たら、がっかりして不合格にしたくなるでしょう。

なぜならこの問題は、

「これ」「それ」「どれ」「あれ」などといった  
指示語の問題と同じだからです。

小学校の1年からずっとこの

「・・・・・・・・これは~~~~」

この文章中のこれははなにをさしていますか？

という問題が定番問題として出てますし、

これがわからないようでは本を読んでも本当に理解して読んでいないということになるからです。

小中学生で読書の時間で読んでいても、本当に理解して読んでいない子が多い傾向になるので書いておきます。

この問題の文章も、本当に理解して読みこめていないとここの問題や次の問題でつまづきます。

しっかり読みこむ時間はありますから段落ごとにきっちり読み込んでください。

前の段落を一文一文しっかり読みこんでください。



集団生活を営む動物→**群れ**→**群れ**を作る例サル等→協力・身を守る・ねぐら

→**群れ**の中の個々の役割→

自分だけがいたら？→**群れ**は成り立たない→



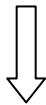
それどころか、『彼らは**群れ**で生活するからこそ生き延びてこられた』動物たちだ

→絶滅もありうるだろう

前の段落から、

人間の生活も、群れなんだ！と言っています。その点で群れをなす動物と同じなんだ。  
だから、人間の中でも

自分だけがいたら？→**群れ**は成り立たない→



それどころか、人間は『**群れ**で生活するからこそ生き延びてこられた』動物たちだ

→絶滅もありうるだろう

答え 群れで生活するからこそ生き延びてこられたという点。

それでは、  
H22～25年分の過去問を  
時間を測って解いてみましょう！

平成22年

1 岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施要項に基づき、思考力や思考過程、判断力、表現力等、小学校等の教育において身に付けた総合的な力をみるため、適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱの2種類の検査を実施した。

適性検査Ⅰ：身の回りの事象や日常の自然現象等に関する課題を分析したり解決したりする。

適性検査Ⅱ：社会現象や自然現象、人間生活等に関する文章や資料を読み取り内容をまとめたり、それらに関する課題を解決したりする。

2 適性検査問題の作成に当たっては、できるだけ身近な場面から課題を取り上げ、受検者がこれまでに身に付けた知識、体験、技能などを活用して思考・判断し、課題を解決するものとなるように心がけた。受検者が解答するに当たっては、思考過程を含め、多様な解答ができるような課題を多くするとともに、表現力をみることができるようにも配慮した。

また、小学校学習指導要領に示された内容等にも配慮して作成した。

3 各課題の出題のねらいは次のとおりである。

#### (1) 適性検査Ⅰ

1 身の回りの事象について見通しをもち筋道を立てて、数理的に分析・考察し、解決する能力をみる。また、課題解決の過程を的確に表現する能力をみる。

2 身の回りの事象について見通しをもち筋道を立てて、数理的に分析・考察し、解決する能力をみる。また、与えられた文章を読み取り、それに基づいて課題を解決する能力をみる。

3 日常の自然現象について自ら問題を見出し、その解決のために、仮説を立て、検証を行い、考察するという一連の科学的なものの見方や考え方を身に付けているかどうかをみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。

#### (2) 適性検査Ⅱ

1 一定の分量の文章を読み、その内容をまとめる能力をみる。文章の内容と生活体験とを関連させながら自分の考えをまとめ、表現する能力をみる。

2 一定の分量の文章を読み、その内容をまとめ、表現する能力をみる。文章を読んで分かったことを踏まえて、自分の将来の夢を表現する能力をみる。

3 「食」に関する資料を関連させ読み取ったことを的確に表現する能力をみる。また、それに関して、自分の意見を表現する能力をみる。

## 平成22年度

### 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 適性検査Ⅰ

#### 【注意】

- ・ この検査は、文章を読んで、二重線で囲ってある課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く検査です。課題ごとにそれぞれ指定された場所に行きましょう。
- ・ 検査用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて4枚あります。指示があるまで、下の検査用紙を見てはいけません。
- ・ 「始め」の合図があつてから、検査用紙の枚数を確かめ、4枚とも指定された場所に受検番号を記入しましょう。
- ・ 検査用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましょう。
- ・ 検査用紙の※には、何も書いてはいけません。
- ・ この検査の時間は、45分間です。
- ・ この検査には、1、2、3があり、会話文には、みちこ、たくや、すすむの同級生3人と先生が登場します。
- ・ 表紙（この用紙）と検査用紙は持ち帰ってはいけません。

(1-1)

受検 番号	
----------	--

1※	2※	3※	4※	※
----	----	----	----	---

1 昨年の7月22日に、太陽の一部分が月でかくされた日食が見られました。この日の太陽と月の見かけの大きさはほぼ同じでした。この日のある時刻に、みちこさん、たくやさん、すすむさんの三人が日食を見るための道具を使って、屋外で観察しました。そのときの太陽は右の図のように見えました。



課題1 次の会話文の ①～④ に当てはまる数字を書き入れましょう。

みちこ：あの日の日食は太陽の欠けた割合が話題になっていたわね。月のかげの黒い円がちょうど太陽の中心にさしかかったときには、太陽はどれくらい欠けていたのかしら。たくやさんとすすむさんはどう思う。

たくや：そうだね。太陽の欠けている部分の面積の割合はどのくらいなのか調べてみたいな。

すすむ：どうやって調べたらいいかな。

たくや：実際の太陽と月のままでは考えにくいから、図をかいて調べてみようよ。

たくやさんは、太陽を半径12cmの円として、コンパスで紙の上にかき、円周率を3.14として計算しました。

たくや：まず、太陽の円の面積を求めよ。この円の面積は ①   $\text{cm}^2$ になるよね。

月の半径も12cmとして、太陽の円の中心を月の円の円周が通るように、もう一つ円をかくよ。太陽の欠けていた部分は、二つの円の重なった部分、図形①になるね。でも、すぐに図形①の面積を出すのはむずかしそうだね。



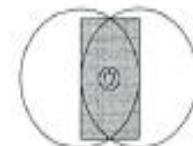
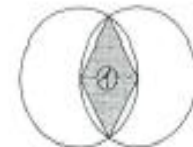
すすむ：うん、そうだね。ぼく、いい方法を考えたよ。図形①より面積が小さい図形として、図形①の内側にくっついた二つの正三角形からできた図形②の面積を考えるんだ。次に、図形①より面積が大きい図形として、図形①の外側にくっついた長方形の図形③の面積を考えるんだ。その二つの面積の平均を出してみると、図形①の面積に近くなると思うんだけど。

たくや：測ってみたら図形②の一つの正三角形の高さは約10cmだから、これを10cmとして計算するよ。

そうすると、図形②の面積は ②   $\text{cm}^2$ になるよね。

図形③の面積は ③   $\text{cm}^2$ になるよね。

図形②の面積と図形③の面積の平均を出してみると ④   $\text{cm}^2$ になるね。





(1-2)

受検 番号	
----------	--

2※
----

みちこ：二人のやり方で図形⑦の面積に近い値が求められたわね。でも、別のやり方で図形⑦の面積そのものを計算できるみたいよ。ちょっと計算してみるね。

**課題2** みちこさんは別の計算のやり方に気が付いたようです。あなたも図形⑦の面積を求めましょう。そのとき、その考え方を、途中の式も書いて説明しましょう。図を使って説明してもかまいません。

考え方

図形⑦の面積

cm<sup>2</sup>

たくや：みちこさんの計算は、より正確に答えを出せたね。でも、すすむさんの求め方でもけっこう近い値が出るんだね。みちこさんが出した値を使って、太陽の欠けている部分の面積の割合を出してみようよ。

すすむ：ぼく、計算してみたけれど、太陽の欠けている部分の面積の割合は、約40%になったよ。日食で太陽が欠けた割合をテレビで放送していたけれど、自分で計算するとけっこう大変だったね。でも、日食が忘れられないできごとになったよ。

2 冬休みになって、たくやさんがみちこさんの家に遊びに行きました。そこにはクリスマスツリーがかざってありました。

**課題1** 次の会話文の  に当てはまる数字を書き入れましょう。

たくや：このクリスマスツリーは、赤と青の2色の電球が光ったり消えたりしてきれいだね。

みちこ：それぞれが同じ時間の間かくで、光ったり消えたりするのよ。1分間で何回光るか回数を調べてみましょうよ。私は赤色の電球を見るから、たくやさんは青色の電球ね。光って消えた直後から数え始めるわよ。

たくや：青色の電球はちょうど30回だよ。

みちこ：赤色の電球はちょうど20回だよ。

たくや：同時に光ることがあるけれど、この二つの電球が1分間で同時に光る回数を調べてみよう。同時に光って消えた直後から数え始めるよ。

みちこ：1分間で同時に光る回数は  回ね。

たくや：同時に光るときがあるから、きれいに見えるんだね。黄色を増やして3色にした方が、もっときれいになるんじゃないかな。

みちこ：どれくらいの間かくで光ったり消えたりする電球にしたらいいのかしら。



**課題2** 3色の電球が同時に光って消えた直後から、3色の電球が1分間で5回、同時に光るようになるには、黄色の電球は1分間に何回光ればよいでしょうか。その考え方と、すべての答えを書きましょう。

考え方	答え

(1-3)

受検 番号	
----------	--

3※

次の日、電球が光ることに興味を持った二人は、友だちのすすむさんをさそって簡単な実験をしました。かん電池の入ったかん電池ホルダー2個、豆電球のついたソケット、導線（リード線）をそれぞれに分け、三人がちがうつなぎ方で、豆電球を点灯させることにしました。

たくや：よし、うまくいった。

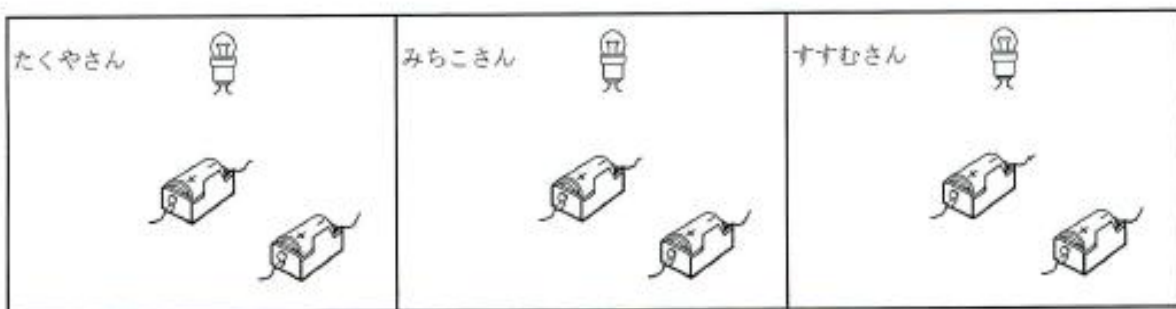
みちこ：光ったわ。わたしのが一番明るいわ。

すすむ：ぼくのはみちこさんと同じ数のかん電池を使ったのに、みちこさんほど明るく光らないな。たくやさんと同じくらいの明るさだね。

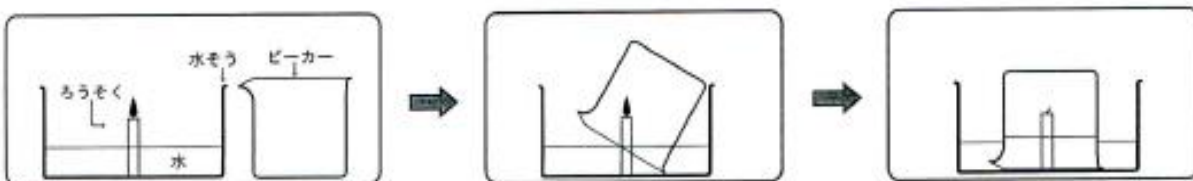
たくや：かん電池のせいかな。ぼくのかん電池が1個余っているから、交かんしてあげようか。

すすむ：ありがとう。でも、いらないよ。かん電池は全部新しくあったからね。

課題3 三人はそれぞれどのように部品をつないでいたのでしょうか。下の図に導線をかき入れて完成させましょう。



- ③ みちこさんとたくやさんが、先生といっしょに、ものが燃えたときの空気の変化を調べようと実験を始めました。みちこさんとたくやさんは、水そうにろうそくを動かさないように立て、その周りには水を入れました。たくやさんがろうそくに火をつけて、みちこさんが図のようにビーカーをかぶせました。そのとき、水面が変化することに気が付きました。



課題1 下の会話文の□に、理由となる言葉を書き入れて完成させましょう。

みちこ：ろうそくの火が消えて、ビーカーの中の水面が上がったわ。

たくや：これはどうしてかな。

みちこ：ろうそくが燃えて、ビーカーの中の酸素が少なくなって、水面が上がったんじゃないかしら。

たくや：ろうそくが燃えてできた□から、その

分だけ水面が上がったんじゃないかな。

みちこさんとたくやさんはそれぞれ自分の考えを、理由1、理由2として黒板に書きました。

先生：確かにそういう理由もあるけれど、ほかにも影響を与えている理由はないかな。

みちこさんは実験後のビーカーの様子を見て、あることに気が付きました。

(1-4)

受検 番号	
----------	--

4※
----

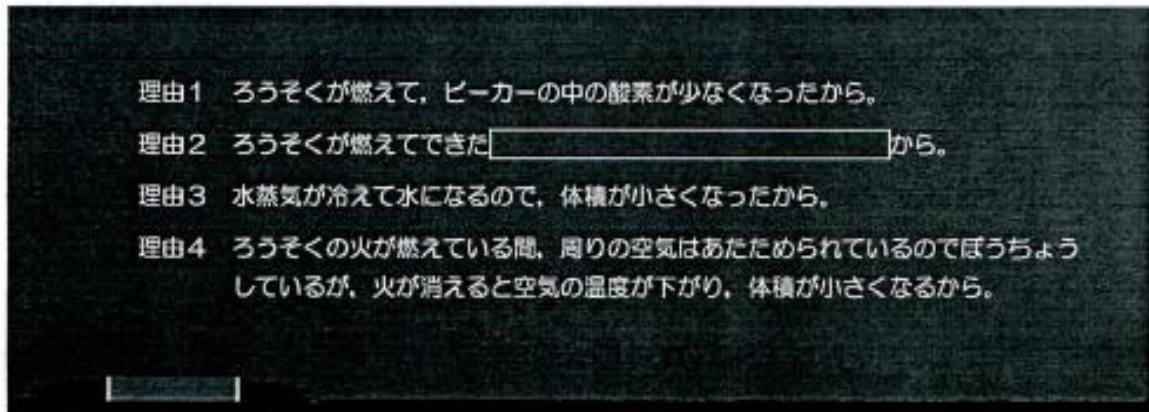
みちこ：先生、ピーカーの内側が小さな水てきのようなものでくもっていますよ。

先生：そうだね、ろうそくが燃えるときには水もできるんだよ。

みちこさんは、先生の話から理由3を考えて、黒板に書きました。

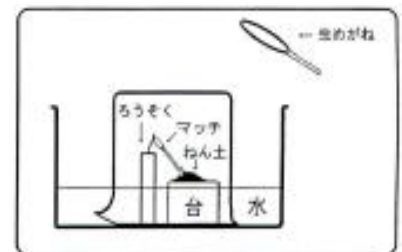
先生：よく考えたね。君たちが書いた理由もまちがいではないけれど、そんなに大きく影響していないんだよ。そこで、こんな理由は考えられないかな。

先生は、そう言って理由4を黒板に書きました。



そこで、みちこさんとたくやさんは、理由4を確かめるために、あたためられてぼうちようした空気が、ピーカーの外に出ないようにして、次のような実験をしました。

みちこさんとたくやさんは図のように、マッチの先がしんに当たるようにろうそくを立てて、ピーカーをかぶせました。マッチの先に虫めがねで太陽の光を集めて、火をつけました。



課題2 初めのうちは、なかなか火がつかせませんでした。しかし、みちこさんがあるくふうをすると、うまく火がつかせました。あなたならどのようなくふうをしますか。考えられるくふうを具体的に一つ書きましょう。

ろうそくの火が消えてから、ピーカーの中の空気の温度が火をつける前の温度になるまで観察を続けました。予想どおりの結果になり、理由4が主に影響していることがわかりました。

課題3 この実験の前にみちこさんは、火がついてから後、ピーカーの中の水面がどのように変化していくかを予想しました。あなたならどのような予想をしますか。その予想を書きましょう。ただし、理由1～3は考えないものとします。

.....

.....



平成二十二年 度

岡山県立岡山大安寺中等教育学校 適性検査Ⅱ

【注 意】

- ・ この検査は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く検査です。課題ごとにそれぞれ指定された場所に書きましょう。
- ・ 検査用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて三枚あります。指示があるまで、下の検査用紙を見てはいけません。
- ・ 「始め」の合図があつてから、検査用紙の枚数を確かめ、三枚とも指定された場所に受検番号を記入しましょう。
- ・ 検査用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましょう。
- ・ 検査用紙の※には、何も書いてはいけません。
- ・ この検査の時間は、四十五分間です。
- ・ この検査には、①、②、③があり、③の会話文には、みちこ、たくやの同級生二人と先生が登場します。
- ・ 表紙（この用紙）と検査用紙は持ち帰ってはいけません。







(Ⅱ-3)

3※

受検 番号	
----------	--

--

③ 次の会話文を読んで、課題1と課題2に答えましょう。

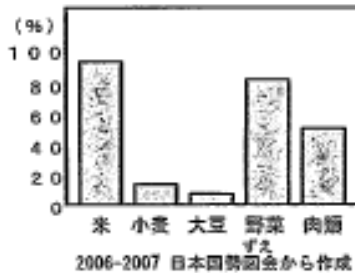
たくや：先生、岡山県の「ももっぴー」っていうキャラクターのかわいい絵を見ました。

先生：「ももっぴー」はね、岡山県の豊かな自然のめぐみを受けて生産された、安全・安心、新鮮な農作物をイメージしてつくられたんだよ。だれもおいしいものや安全なものを食べたいからね。そういえば、食料を生産してから食べるまでのことを「食」という言い方をすることもあるけれど、その中には、いろいろと考えるべきことがあるんだよ。次の①から④の資料を見てごらん。日本の「食」の現状について、どんなことに気が付くかな。

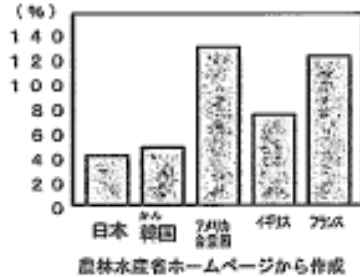
みちこ：わたしはこんなことに気が付きました。



① 日本の農産物別自給率



② 各国の食料自給率



③ 日本の農産物輸入先 (上位3か国)

	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)
小麦	アメリカ合衆国 (54.7)	カナダ (25.2)	オーストラリア (19.8)
大豆	アメリカ合衆国 (70.8)	ブラジル (12.2)	カナダ (8.8)
肉類	オーストラリア (23.0)	アメリカ合衆国 (17.3)	デンマーク (12.1)

2006-2007 日本国勢調査から作成

④ 各国のフードマイレージ

国名	国全体のフードマイレージ (t·km)	国民一人あたりのフードマイレージ (t·km)
日本	9002億 800万	7093
韓国	3171億 8900万	6637
アメリカ合衆国	2958億 2100万	1051
イギリス	1879億 8600万	3195
フランス	1044億 700万	1738

農林水産省ホームページから作成

※フードマイレージ

生産地から消費地まで、どれだけの量の食べ物がどれだけのきよりを運ばれるのかを表しています。食べ物の重さときよりをかけているのでt·km(トン・キロメートル)という単位が用いられています。

課題1 みちこさんは何かに気が付いたようです。あなたも①～④のうち二つ以上の資料を関連づけて、日本の「食」の現状について、気が付いたことをすべて書きましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
------------------------------------------------------------------

課題2 課題1で気が付いたことのうち一つを取り上げて、そのことに対するあなたの意見をまとめて書きましょう。

<p>課題1から取り上げたこと：</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>あなたの意見：</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------

平成23年1月8日

平成23年度岡山県立岡山大安寺中等教育学校入学者選抜のための  
適性検査の概要及び出題のねらいについて

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

1 岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施要項に基づき、思考力や思考過程、判断力、表現力等、小学校等の教育において身に付けた総合的な力をみるため、適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱの2種類の検査を実施した。

適性検査Ⅰ：身の回りの事象や日常の自然現象等に関する課題を分析したり解決したりする。

適性検査Ⅱ：社会現象や人間生活等に関する文章や資料を読み取り内容をまとめたり、それらに関する課題を解決したりする。

2 適性検査問題の作成に当たっては、できるだけ身近な場面から課題を取り上げ、受検者がこれまでに身に付けた知識、体験、技能などを活用して思考・判断し、課題を解決するものとなるように心がけた。受検者が解答するに当たっては、思考過程を含め、多様な解答ができるような課題を多くするとともに、表現力をみることができるようにも配慮した。

また、小学校学習指導要領に示された内容等にも配慮して作成した。

3 各課題の出題のねらいは次のとおりである。

(1) 適性検査Ⅰ

① 身の回りの事象について、条件を読み取って論理的に思考・分析し解決するとともに、表現する能力をみる。また、日常の自然現象についてきちんと理解しており、そのことを分かりやすく表現する能力をみる。

② 身近な動物の行動について自ら問題を見いだし、その解決のために、仮説を立て、検証を行い、考察するという一連の科学的なものの見方や考え方を持っているかどうかをみる。

③ 身の回りの事象について見通しをもち、筋道を立てて数理的に分析・考察し、解決する能力を見る。

(2) 適性検査Ⅱ

① 文章を読み取るのに必要な基礎的な語彙の力をみるとともに、一定の分量の文章を読み、その内容をまとめ、表現する能力をみる。文章から読み取ったことを踏まえて、自分の考えをまとめて表現する能力をみる。

② 発電に関する資料から読み取った事項を的確に表現する能力をみる。また、それに関して、自分の意見を表現する能力をみる。

学習塾ラギースは、“**小中学生のための受験対応**”学習塾です。

『**適性教室**』は、適性検査の過去問を徹底して詰め込む4名までの指導教室です。

『**算数教室**』は、16～17時まで、宿題や補習・復習をする教室です。

『**宅建講座**』は、大学生・大人対象の宅建合格を目指した講座です。

### ラギース出版発刊テキストのお知らせ

- ・ 適性検査テキスト 《操山・大安寺・倉敷天城・高松北・愛媛・高知・徳島・山口・福山》
- ・ 宅建民法テキスト 《民法総則・物権・債権総論・債権各論等 全4冊》

その他順次、各地の適性検査テキストや法律テキストを発刊していきます。

ブログ等にてご確認ください。

～～～ご意見をお聞かせください。～～～

ご愛読いただきありがとうございました。誤字々脱字々間違いなどお寄せください。また、読んでみたい資格や小中学の科目勉強などのテーマがございましたら、ぜひ積極的にお知らせください。

今後の出版に反映させていただきます。

mail : atsub@hotmail.co.jp

#### 著者略歴

大学卒業後、資格取得学校にて勤務。大学時代の家庭教師、

塾講師や社会人時代の塾講師の経験を経て、

現在、岡山にて学習塾ラギースを開校。

資格 行政書士、宅建、漢字検定2級、貸金業取扱主任者、FP3級

大安寺中学受験適性対策テキスト

2011年11月22日 初版発行

2012年7月17日 第二版発行

2013年7月9日 第三版発行 著者 沢良木 敦